

「コンタクト空ケースの回収PJ」の 現時点の活動報告と今後の方針

商経学部	商学科	1910045	鈴木舞
商経学部	商学科	2110430	宇田川葵葉
商経学部	経営学科	2130141	富成優花
商経学部	経営学科	2130046	菅谷 光

目次

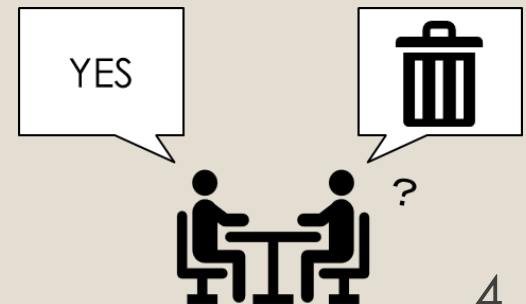
- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- 活動概要
- 現時点の活動報告
- データに基づく考察
- 今後の活動方針

目次

- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- 活動概要
- 現時点の活動報告
- データに基づく考察
- 今後の方針・活動予定

提案発足のきっかけ

1. 我々が在籍していた高等学校はコンタクト空ケース回収活動を行っていたが、SDGsに積極的な本学は行っていなかったことへの疑問
2. 立案者所属のゼミナールで、コンタクトレンズ使用者を対象に『空ケースをゴミ箱に捨てているか』という質問をしたところ、全員が『捨てている』と答えたため



目次

- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- 活動概要
- 現時点の活動報告
- データに基づく考察
- 今後の方針・活動予定

コンタクトの空ケース回収

共通の意義

- 空のケースをゴミとして処理しないことにより二酸化炭素を削減
- 新たな製品としてリサイクルすることにより限りある資源の消費を抑える

HOYA株式会社アイケアカンパニー eyecityの場合

→ アイシティecoプロジェクト

- 視力を取り戻す活動をしている日本アイバンク協会への寄付
- リサイクル業務での自立・就労支援



株式会社シードの場合

- 回収収益は「美しい海をこどもたちへ」をモットーとする海洋ゴミ問題解決活動の一般社団法人JEANに全額寄付



「アイシティ ecoプロジェクト」

- 累計ケース回収量: 575.24t (空ケース 5億7500万個)
- 累計二酸化炭素削減量: 1593.41t-CO₂ (東京ドーム95.4個分)
- 累計寄付金額: 13,143,162円
- プロジェクト参加企業: 994社2,826拠点
学校: 2,702校 自治体: 277拠点

2023年7月現在

協定事例 – 甲南大学等

9月10日現在千葉県内の大学は0校であるため、千葉県内の大学初の協定事例になり得る

協働事例

アイシティ ecoプロジェクトをより多くの方々へ知っていただくため、様々な高等学校様、企業様、自治体様へ活動のご協力をお願いしています。



学校



企業



自治体

地域

都道府県を選択

カテゴリ

中学校

高等学校

その他



甲南大学 社会連携機構
地域連携センター
(KOREC)様



藍野大学短期大学部第二
看護学科様



東京都立白鷺特別支援学
校様



大分県立新生支援学校様



実践女子大学 渋谷キャンパス様

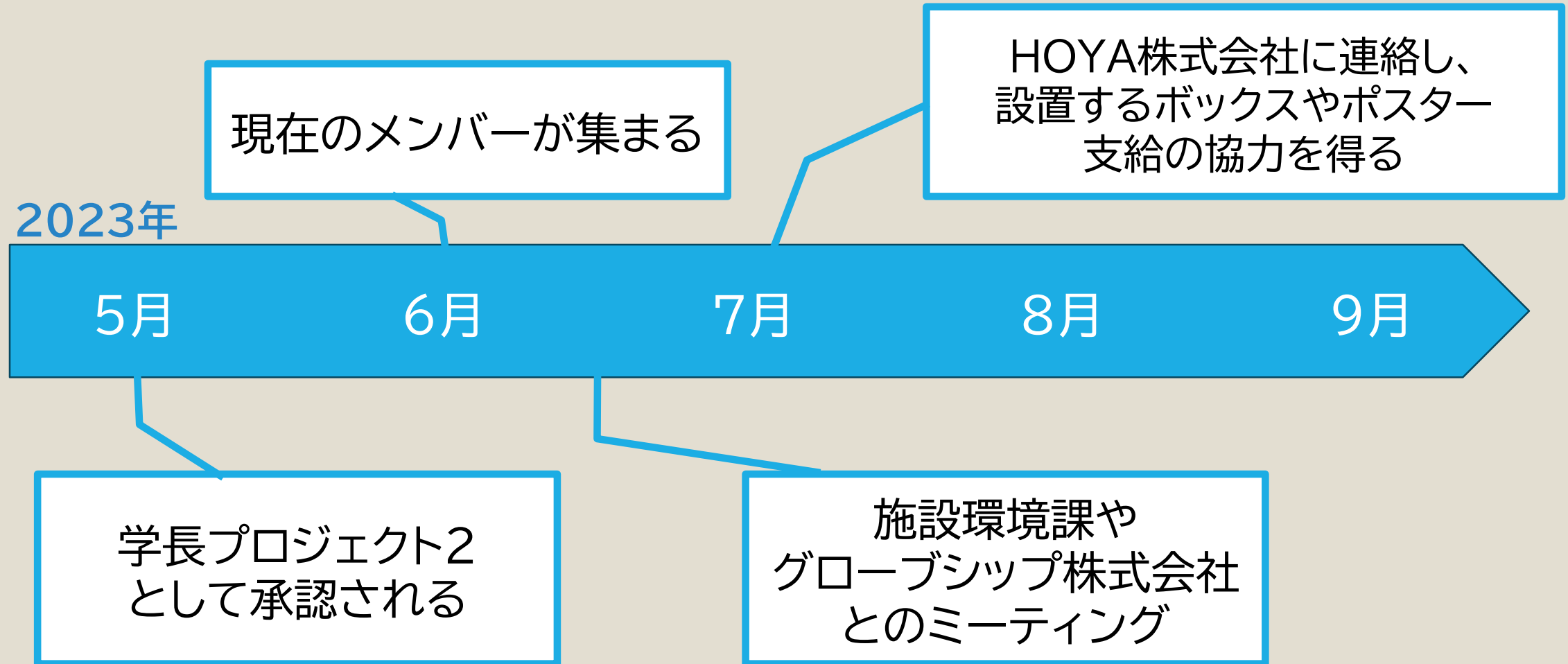
そこで、HOYA株式会社
アイケアカンパニー eyecityの
ecoプロジェクトに参加

本学が取り組むことで想定される効果

- 「マイボイスコムアンケート」と「日本眼科医会」を参考し、千葉商科大学の大学生の20%がコンタクトレンズを使用していると仮定
- 2023年5月現在の学生数の20%は1,128人
全員が参加した場合……

	回収が見込める空ケース	二酸化炭素削減量
1day	約823,440個	22,817kg
2week	約58,656個	1,625kg

プロジェクト発足からの運び

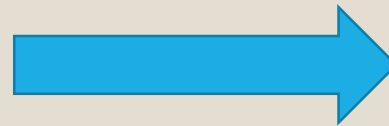


回収方法 (eyecity)

- 空のコンタクトケースのリサイクルに学生が参加する方法は至って**簡単**
- 使い捨てコンタクトレンズの空ケースの**アルミシールを剥がし、容器を乾燥**させてから**回収ボックスに入れるのみ**



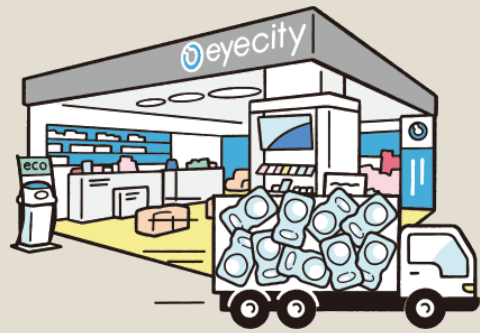
<https://www.eyecity.jp/eco/>



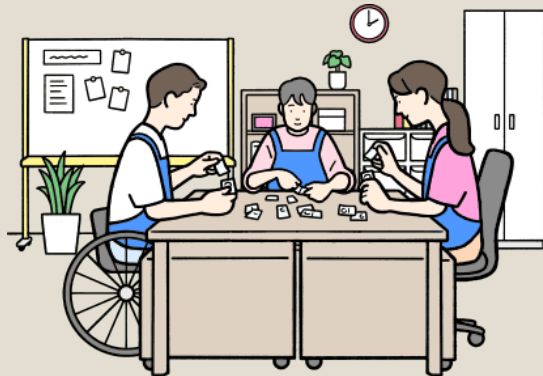
<https://www.eyecity.jp/sdgs/>

回収後のコンタクトケース

空ケースの回収



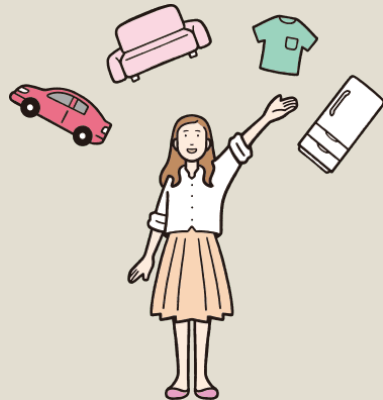
障がい者自立・就労支援



リサイクル工場で粉砕



リサイクル製品として再生



日本アイバンク協会へ寄付



目次

- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- **活動概要**
- 現時点の活動報告
- データに基づく考察
- 今後の方針・活動予定

活動概要

- 一週間に一度、ボックスの見回りと回収
- 2kg以上の回収後、段ボールに伝票を書き、コンビニより発送
- 発送後の重量報告からデータを分析し、宣伝活動に活かす

目次

- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- 活動概要
- **現時点の活動報告**
- データに基づく考察
- 今後の方針・活動予定

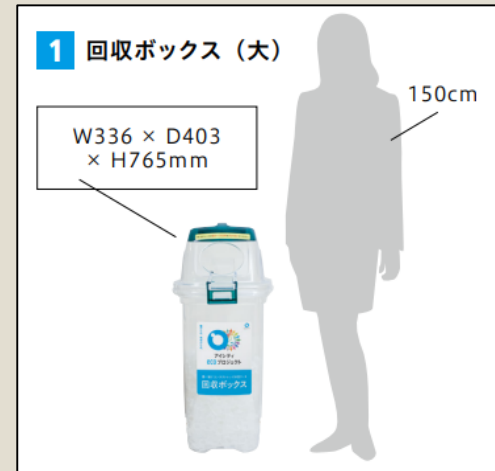
現時点の活動内容

- 夏休みの活動
 - 月に一度ボックスの点検
- プロモーション活動
 - 7月11日:3号館1階と本館1階にポスターの設置
 - 7月20日:研究棟のポップの作成
 - 8月18日:PORTALの掲示板へ文書の掲示

回収ボックス設置場所

- 回収ボックス(大)
 - ・本館1階総合受付付近
 - ・1号館1階エレベーター横
 - ・3号館階段付近⇒人通りが多い

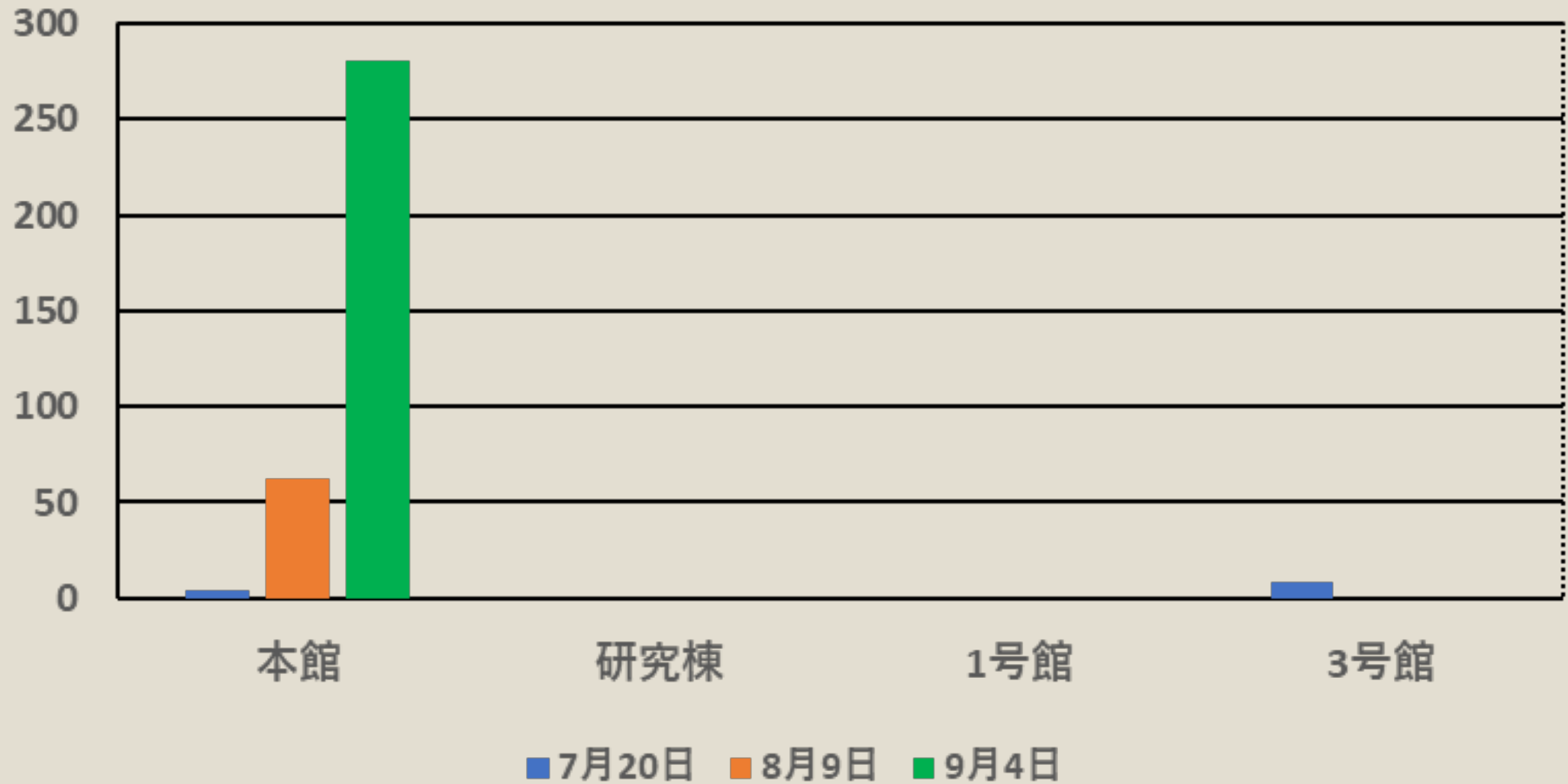
- 回収ボトル(小)
 - ・研究棟⇒教員の利用場所が増える



各画像出典

【コンタクトのアイシティ】ecoプロジェクトご案内冊子より

回収個数



目次

- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- 活動概要
- 現時点の活動報告
- データに基づく考察
- 今後の方針・活動予定

データに基づく考察

- 本館の回収状況により、職員の方々へのPORTALの掲示の効果が大きい
- 研究棟の回収状況により、教授の方々へのPORTALの掲示の効果が小さい
⇒ 教員の皆様へインタビューを試みる

- 1号館、3号館の回収の少なさは夏休み期間のためか
⇒ 1号館の回収状況が悪いのは目に入りにくいいためか
夏休み前に3号館で数十個回収ができたのは、お手洗いの近く、
または生協の近くのためか

学生も対象とした今後の周知活動

- 長期休暇明けにPORTALに掲示する
- キャンパスディスプレイを用いる
- お手洗いにボックス(小)を設置したり、ポップを用いる

目次

- 提案発足のきっかけ
- コンタクトの空ケース回収
- 活動概要
- 現時点の活動報告
- データに基づく考察
- 今後の方針・活動予定

今後の方針・活動予定

目標①

プロモーション活動の強化

目標②

11月初旬に2000個の
空ケース回収を目指す

目標③

チャレンジアワードへの挑戦

目標④

論文化

参考文献

- 環境省HP <https://www.env.go.jp/index.html> (2023年3月21日閲覧)
- コンタクトレンズeyecity HP <https://www.eyecity.jp/eco/> (2023年3月21日閲覧)
- 株式会社SEED HP <https://www.seed.co.jp/bluseed/> (2023年3月21日閲覧)
- 公益社団法人 日本眼科協会HP <https://www.gankaikai.or.jp> (2023年3月21日閲覧)
- 大阪市平野区HP <https://www.city.osaka.lg.jp/hirano/page/0000594831.html> (2023年3月29日閲覧)
- マイボイスコム アンケートデータベース <https://myel.myvoice.jp> (2023年3月22日閲覧)
- 『株式会社シード|使用済みコンタクトレンズケースの回収で循環型社会を目指す「BLUE SEED PROJECT」』 2022年7月12日 中谷秋絵 <https://spaceshipearth.jp/seed/> (2023年3月22日閲覧)
- 『シードと横浜市大、コンタクトレンズの空ケース回収活動における協定を締結』 2022年10月3日 日経速報ニュースアーカイブ
- 『目に異常、小中高生で多発 増えるコンタクト利用が影響—ライフサポート』 2021年1月13日 日経速報ニュースアーカイブ
- 【コンタクトのアイシティ】ecoプロジェクトご案内冊子